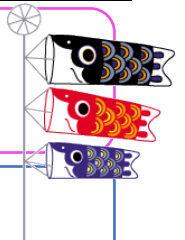


日	月	火	水	木	金	土
				4/29	4/30	1
				← 4/29~5/5 休校 →		
2	3	4	5	6	7	8
← 4/29~5/5 休校 →				月謝振替日		
9	10	11	12	13	14	15
育伸社テスト "提出締切"	休校			月謝再振替日		
16	17	18	19	20	21	22
五木駿々堂模試	休校					
23	24	25	26	27	28	29
	休校					
30	31	開校時間 火~金 14:00~21:10 土 10:30~19:00				
	休校	日曜日はお問い合わせください ※ 心理相談をご希望の方は要連絡				

★ 5月の予定 4/29~5/5 休校(集合、自学、各種道場休み・振替無し)

5/9 育伸社テスト(13:00~) 5/16 五木駿々堂模試 ・ 中3五ツ木模試

★ 6月の予定 6/6育伸社テスト



M.access (エム・アクセス)

TEL:075-256-7739

Fax:075-256-7724

E-mail maccess@sch.jp

独断◆毎朝の散歩で、鴨川の畔を歩いていた。花は満開、空は快晴、素晴らしい日和である。桜の側で少し佇んでいると、風も無いのに、一枚、二枚と花弁が散ってくる。はたと見上げると、小鳥が枝の上にいる。一口啄んでははらり、また啄んでははらりと、花弁で遊んでいるようだ。これはまた風流な。「梅に鶯」なら桜には何だろうと思いを馳せていると、妙な疑問に行き着いた。◆小鳥が花弁を千切つて遊ぶのは「自然」で「風流」だ。しかしもしこれを人間がしたら「なんて酷いことをするのだ」と叱られる。人が植えた桜はその人のものだから、勝手に取つてはいけないのも理解できる。しかし山桜を手折つても、現代ならやはり批難を浴びるであろう。

◆桜を生けるには、花屋さんで買ってくれば誰にも文句は言われない。何故か。誰かが栽培した桜を誰かがお金を払って仕入れて来たものだろうから。それならいいのですか? ◆ここで気が付かなくてはならないのは、全て誰かの都合で、誰かがその場の解釈で勝手に善悪を決めているだけだということだ。

経済原理と言えども一部は正しい。命を大切にすると理由も一部は正しい。しかし、買ってくるのは良いのに野生の山桜なら一輪摘むことさえいけないとされるのは、そこに別の問題が隠されているからである。◆欧米の理屈では「飼育された牛」なら殺しても良いが、「野生の鯨」は殺してはいけない。ここには経済でも生命倫理でもない、別の理由がある。「ふざけるな」と一喝できる日本人がどれだけいるか? ◆風流な小鳥の姿を楽しんだ私は、河原の菜の花を一枝手折って、仏様のお供えに帰った。(み)